

2011年度

科目名	ドイツ語 I (コミュニケーション)		
担当教員	伊東 史明		
配当	英語1・薬科1(44134414)	コード	21003
開期	通年	講時	火曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	ドイツ語の基本構造及びドイツの生活文化とコミュニケーション。		
目的と概要	ドイツ語の基礎を学習していきながら、ドイツの社会・風俗・生活習慣の説明を行い、彼我の文化の相違について考えていきたい。1年間で簡単な買い物などのコミュニケーションもできるようにする予定。また基本的な文章構造を把握し、簡単な文章を理解したり、発言できるようにする。		
成績評価法	定期試験80%、平常点(授業時の発表点)20%		
テキスト	「クロイツング・ネオ」/小野寿美子、中川明博、西巻丈児/朝日出版社		
参考書	辞書については1回目の講義時に説明する。		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	テキストの1～4課はもともと基礎的な部分であり、ドイツ語を形作る根本である。ここで決して遅れをとらないように。予習は必須。毎回当てて発表点を取るの、予習してこないものは出席と認めないから心しておくこと。しかし何よりも楽しく学ぶことが大事である。これまで知らない文化や街を知る楽しみを見出して欲しい。授業には独和辞書必携。 語学の授業は一段一段階段を上るようなものである。欠席しないことが大切である。なお欠席が5回になった時点で名簿から消去するので注意のこと。		
講義計画			
<p>前期</p> <p>第1回 ドイツの現状・ドイツ語の欧州語としての文化的位置</p> <p>第2回 発音 1</p> <p>第3回 発音 2 数字 挨拶</p> <p>第4回 L1: 動詞の現在人称変化 1</p> <p>第5回 動詞の現在人称変化 2</p> <p>第6回 L2: 名詞と定冠詞</p> <p>第7回 不定冠詞</p> <p>第8回 L3: 不規則動詞</p> <p>第9回 命令形、人称代名詞 「ドイツの鉄道」</p> <p>第10回 L4: 冠詞類 1</p> <p>第11回 冠詞類 2、格変化まとめ 「ドイツのエコロジー」</p> <p>第12回 L5: 前置詞</p> <p>第13回 副文</p> <p>第14回 非人称動詞 「スイス銀行」</p> <p>第15回 総まとめ</p> <p>後期</p> <p>第1回 L6: 冠詞、動詞の復習、話法の助動詞 1</p> <p>第2回 話法の助動詞 2、分離動詞・非分離動詞 1 「ドイツ映画」</p> <p>第3回 分離動詞 2</p> <p>第4回 L7: 形容詞の格変化</p> <p>第5回 zu不定詞句 「ドイツのパン」</p> <p>第6回 L8: 過去分詞の作り方 1</p> <p>第7回 過去分詞の作り方 2、完了形 1</p> <p>第8回 完了形 2 「ドイツの過去」</p> <p>第9回 L9: 過去形 1</p> <p>第10回 過去形 2</p> <p>第11回 再帰動詞 1</p> <p>第12回 再帰動詞 2 「オペラ」</p> <p>第13回 L10: 形容詞の比較変化</p> <p>第14回 関係代名詞 「ホテル」</p> <p>第15回 総まとめ</p>			